

会 議 議 事 録

1 会議名	第31回長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会
2 開催日時	令和2年12月10日(木曜日)から 令和2年12月25日(金曜日)まで
3 開催場所	書面表決 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、委員からの意見聴取による書面審議とした)
4 出席者名	委員：小林委員(委員長)・内山委員(副委員長)・安藤委員・ 小野委員・笹川委員・星野委員・吉井委員・渡辺委員 事務局：小池教育部長、小熊科学博物館長、神保館長補佐、 小林主査
5 欠席者名	なし
6 議題	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について 議題(1) 令和2年度事業の実施状況について 議題(2) 令和3年度の事業計画について
7 審議結果の概要	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について ・議題(1)について、事務局から書面で報告した。委員から寄せられた意見・質問には、回答を作成して委員に送付することとする。 ・議題(2)について、事務局から書面で説明した。委員から寄せられた意見・質問には、回答を作成して委員に送付することとする。
8 審議の内容	別紙「書面表決の集約結果」及び「令和2年度馬高・三十稲場遺跡保存活用委員会書面表決結果」のとおり
9 会議資料	別添のとおり

書面表決の集約結果

1 令和2年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の実施状況の報告について 承認 8 / 8

2 令和3年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の事業計画(案)について 承認 8 / 8

3 令和2年度の実施状況報告について

委員	藤橋歴史の広場はもっと広く市民に知っていただき、活用されるように願います。
委員	出前授業、縄文館の利用は小学校6年生を中心に精力的にとり組まれ、事例の実績はすばらしいと思います。縄文館の多角的な活動として評価されます。 小学校を卒業してからの縄文・弥生時代への関心について、地元の小学校に何らかのデータは残っているのでしょうか(たぶん無いとは思いますが)
委員	・コロナ禍の影響で予定されていたイベントの中止など、また、入館者数の激減は仕方ないことだと思います。そんな中、「出前授業・体験学習」は例年並みに対応されており、大変お疲れ様でした。 ・催し物の案内チラシのデザインも注目が高いと思います。
委員	令和2年度はコロナ禍でのスタートとなりました。その中で計画に沿ったイベントがこれだけ数多くできたこと、また各小学校への体験学習等も実施できたことは皆様のご努力の賜物です。ありがとうございます。特に、参加者1名というイベントもあったようですが、少人数でも実施できたことは大きな意義があると思います。
委員	コロナ禍にもかかわらず、縄文出前授業や見学受け入れを行ってくださり有難かった。とりわけ、今年度の小学校6年生にとっても貴重な学び体験がとまってしまいがなかったことはとても良かった。

4 令和3年度の事業計画について

委員	各事業実施、コロナ禍において困難なことが多いと思います。皆様くれぐれもご自愛のほど、御活動ください。
委員	史跡馬高・三十稲場遺跡整備総括報告書の刊行年は決定され

	ているのでしょうか。総括報告書作成後のねらいは特にあるのでしょうか。
委員	<p>コロナ禍が終息し、オリンピックの開催とともに「火焰土器」に関心を持つ観光客が多数来岡されることを期待したいです。</p> <p>状況をみて、オリンピック開催に対応した縄文企画や中央に向けたPRなども検討いただければと思います。</p>
委員	<p>イギリスでは新型コロナウイルス変異種が急増しているようですが、令和2年度に中止になったストーンヘンジビジターセンターへの火焰型土器展示が実現できることを願っています。</p> <p>細かなことですが、環境を常に整えておくことは大事かと思えます。</p> <p>(案)の5、環境整備事業よろしく願いいたします。</p>

5 その他

委員	<p>資料4を例にとれば縄文館の利用は殆ど小学校だが、小学校時代利用したので、中学時代は利用しないということか？</p> <p>また、長岡中心部の学校の利用が少ないのはどうしてか？</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産関係事業との関連をあまり気にしたことはありませんが、馬高縄文館の役割がこの中で高まることを期待します。 ・COVID-19が今後どのように変わっていくのか予測できない面が多いのですが、2021年度はこの点に注意して事業を展開されるよう期待いたします。
委員	<p>コロナ禍で、新しい生活様式が求められています。何をするについても、細心の注意を払わなければならないご苦労はいかばかりかと思いますが、こんな時だからこそ今まで積み上げてきた事業の灯を消すことなく継続して行ってほしいと思います。</p>
委員	<p>今年度、公立の小中学校において1人1台タブレット端末配置が一気に進んだ。オンラインによるライブ解説のようなスタイルで利用ができたなら、県内の中越地区以外の学校にとっては魅力かと思う。</p>

令和2年度 馬高・三十稲場遺跡保存活用委員会書面表決結果

- 1 令和2年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の実施状況の報告について 承認 8/8
- 2 令和3年度馬高・三十稲場遺跡関連事業の事業計画(案)について 承認 8/8
- 3 令和2年度の実施状況報告について

項目	意見趣旨	回答要旨
藤橋歴史の広場に関すること	藤橋歴史の広場を広く活用し、市民に知ってもらふ必要がある。	藤橋歴史の広場はオープンから28年がたち施設の老朽化もあり来訪者が減少している。土器づくりイベントなどを開催して認知度を高めるようにしているが、今後も馬高縄文館や県立歴史博物館との連携を通じて活動を増やしていきたい。
小学校卒業後の関心について	小学校卒業後の縄文・弥生時代の関心について、アンケートなどはあるのか。	縄文・弥生時代のみでなく歴史に関するアンケートなどは行っていない。

4 令和3年度の事業計画について

項目	意見趣旨	回答要旨
イギリスとの交流について	ストーンヘンジビジターセンターへの火焰型土器貸出しなど実現を願う。	イギリスとの交流は新型コロナウイルスの感染拡大により難しい事業となっているが、状況をみながら進めていきたい。
今後の環境整備について	史跡の環境整備を引き続き行ってほしい。	施設の改修を含む環境整備は今後も継続していきたい。
オリンピックに伴うPRなどについて	オリンピックの開催に際して、縄文に関するPRを行い、国内外に認知してもらふ必要がある。	オリンピック開催に向けて、日本博の活用や信濃川火焰街道連携協議会の事業とともにPRを進めたい。また、解説文の英語への翻訳などを行い、海外からの来訪者への対応を備えたい。

馬高・三十稲場遺跡の総括報告書について	総括報告書の刊行スケジュールと、刊行後にどのように活用するのか。	馬高・三十稲場遺跡の出土品を再点検したところ、報告書に掲載する匹資料が想定よりも多かったことがわかり、刊行年度をまだ確定してない。できるだけ早く刊行したい。また、刊行後は成果を使った特別展示や講演会などを開催したい。
---------------------	----------------------------------	--

5 その他

項目	意見趣旨	回答要旨
小中学校 ICT 利用について	県内の各学校に配布が進んでいるタブレットを利用して、学習を行うことができないか。	情報機器を活用した学習については模索中である。新型コロナ感染拡大防止の観点から、各博物館が連携した「おうちミュージアム」活動などもあり、動画の試作から始め、ICT 機器の利用を考えていきたい。
中学校の利用について	中学校の利用が少ない理由は何か。	調査等はしていないが、中学校が校外学習に積極的でない可能性がある。カリキュラムを考慮した学習メニューを検討する必要がある。
市内中心部の学校の利用について	長岡市内中心部の学校の活用が少ない理由は何か。	年度によって利用状況は異なるが、校外学習先が県立歴史博物館にとどまっている可能性もある。馬高縄文館の特色を周知して活用の促進をはかりたい。
日本遺産関係事業と馬高縄文館について	日本遺産関係事業と連携して、馬高縄文館の役割が高まることを期待する。	日本遺産や日本博に係る事業に関連して、馬高縄文館などに係る事業を積極的に活用して来館してもらえるように PR していきたい。

※全体的に新型コロナへの感染拡大防止と事業に係るお話をいただきました。

令和2年4月21日～5月11日にかけては馬高縄文館を臨時閉館し、特別展やイベントを

中止をしました。5月以降も、毎年行っていた関原楽市縄文まつりも中止されるなど、館外の活動にも影響がありました。また、人の移動が減ったことにより長岡市外からの観光客が減少し観覧者も激減することとなりました。

臨時休館となった時期が昨年まで小学校の来訪が集中していた時期と重なりましたが、その分それぞれの学校に赴く出前授業の活用が増えました。

令和3年度は感染の状況を鑑みながらの対応となり例年通りのイベントや特別展が行えないと思いますが、できるかぎり事業を実施できるようにするとともに、感染拡大を防止しながら行えるイベントや学習支援を開発していく予定です。